

## 2. 学部開放授業

授業科目名 (英文表記)	地域観光戦略論 B (Regional tourism strategy B)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	藤田 和史		
開講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 10月5日(土) 13:00~17:00	第4回 12月21日(土) 13:00~17:00	
	第2回 10月26日(土) 13:00~17:00	第5回 1月11日(土) 13:00~17:00	
	第3回 11月9日(土) 13:00~17:00	第6回 1月25日(土) 13:00~17:00	
<b>【授業の概要・ねらい】</b>			
<p>観光は、「国の光を観る」という語源から、土地の風物・名所を観る行動と考えられてきました。しかし、現在の観光という行動は、語源の意義を含みつつも変化しています。自らの目的意識に基づく観光、風物・名所を観るとともにその背後にある「物語」をも楽しむ観光まで、新たな観光として深化・多様化しています。そして、現在の観光の大きな特徴は、個人の観光行動が広く発信され、それが多数に共有され、新たな観光を誘発するという点です。昨年度は様々な分野から観光の新たな傾向について広く学びました。今年度は、それをもとに、各地のよりローカルな素材を活かした、より地域に密着した観光戦略を具体的に考えてみたいと思います。</p>			
<b>【授業計画】</b>			
<p>授業は以下の内容・予定で進めていきます、担当者・ゲストスピーカーの都合で順番が入れ替わることがあります。入れ替わる場合は、予め連絡します。最終回は、具体的な観光戦略とその発信方法についてグループワークを行います。</p>			
<p>第1回 <b>【観光と環境】</b> 観光を取り巻く環境の変化 (担当教員：小川雅則)</p>			
<p>第2回 <b>【観光DX】</b> 地域観光事例にみるDX戦略 (担当教員：満田成紀)</p>			
<p>第3回 <b>【文化遺産と観光】</b> 観光資源としての巡礼の可能性 (担当教員：藤田和史)          ゲストスピーカー：武田国貴 (田辺市熊野ツーリズムビューロー 事務局長)</p>			
<p>第4回 <b>【産業観光】</b> 産業遺産を活用した産業観光 (担当教員：藤田和史)</p>			
<p>第5回 <b>【観光とまちづくり】</b> ポストコロナにおける商業まちづくり・都市観光 (担当教員：藤田和史)          ゲストスピーカー：古井幹也 (観光学研究科博士課程)</p>			
<p>第6回 <b>【まとめ】</b> 地域観光戦略を立案する (全教員)</p>			
<b>【到達目標】</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らが暮らす地域にある観光の元になる素材を発掘できる。</li> <li>2. 素材を活かした観光について、訴求力を持った計画を立案できる。</li> <li>3. その情報をターゲットに対して効果的に発信できる。</li> </ol>			
<b>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</b>			
<p>各回の担当者が課す課題(30%)、最終回のグループワークの報告内容(20%)および最終レポート課題(50%)で評価します。</p>			
<b>【教科書】</b>			
<p>特に定めません。授業時に適宜資料を配付します。</p>			
<b>【参考書・参考文献】</b>			
<p>適宜紹介します。</p>			
<b>【履修上の注意・メッセージ】</b>			
<p>グループワーク・ワークショップを含む授業です。また、南紀熊野サテライトでの開講です。積極的な参加を期待します。</p>			
<b>【履修する上で必要な事項】</b>			
<p>PC等を使用しますので、持参してください。</p>			
<b>【授業時間外学修についての指示】</b>			
<p>配付された資料の精読、および授業で提示された課題に取り組んでもらいます。</p>			
<b>【授業理解を深める方法】</b>			
<p>本学「アクティブ・ラーニング」実施要項の以下の項目に該当します。</p>			
<p>⑧学生による発表をともなう学習</p>			
<p>⑩グループワークをともなう学習</p>			